

## 実践記録（小3・社会）

### 1 ねらい

工場の近くに海や鉄道、大きな道路がある理由を考え、友達の意見と自分の意見との共通点や相違点を見付けることができる。

### 2 手立て

複数の情報を結びつけて考えをまとめるために、白地図を重ね合わせて観点別にまとめたり、海や鉄道、道路の近くに工場が多い理由を共通するキーワードで結び付けたりする。

### 3 実践の様子

本時のめあてを確認し、名古屋港のあたりの地図と資料のついたワークシートを児童に配布した。そして、名古屋港のあたりには何があるのかをワークシートに書かせた。児童は土地利用について地図や資料から読み取ることができ、「海がある」や「名古屋港水族館があるよ、ぼく行ったことあるよ」、「工場が多いね」「高速道路がある」など、たくさんの意見が出た。

次に、名古屋市白地図（土地の高低、主な鉄道、工場の多いところ、主な道路）をもとに、名古屋港のあたりに着目させて、二つの地図を重ね合わせた。そして、重ね合わせた地図を見て気付いたことを考え、ワークシートに記入させた。

最初に土地の高低と工場の多いところの白地図を重ね合わせると、「土地の低いところに工場が多いね」「土地の低いところは海が近いから、海が近いところに工場が多いね」と気付いたことをつぶやく様子が見られた。

次に、主な鉄道と工場の多いところの白地図を重ね合わせると、「鉄道の近くに工場が多い」ことに気付く様子が、主な道路と工場の多いところの白地図を重ね合わせると、「高速道路や大きな道路の近くに工場が多い」ことに気付く様子が見られた。

そして、なぜ海や鉄道、道路の近くに工場が多いのかを児童に考えさせた。グループで対話を行った後、海の近くに工場が多い理由として、「水をたくさん使うから」「材料を船で運ぶから」などが上がった。また、鉄道の近くに工場が多い理由として、「工場ですべての製品を電車で運ぶから」「鉄道が壊れても工場が近くだと、すぐに直せるから」などが、主な道路の近くに工場が多い理由として、「作った製品を運びやすいから」「通勤に便利だから」などが出された。そして、児童はたくさんの理由の中から

「運ぶ」という言葉が共通していることに気付き、海や鉄道、主な道路の近くに工場が多い理由として、物を運ぶのに便利であるからと、考えを深めることができた。

### 4 成果と課題

○ 白地図を重ねたり、海や鉄道、主な道路の近くに工場が多い理由を考えて情報を結び付けたりすることで、子どもは考えを深めることができた。

● 教師主体で授業をすすめてしまったので、共有した考えをもとに、子どもから様々な考えを出させて深めていくような授業の進め方をしていく必要があった。



【重ね合わせた白地図】



【グループで対話している様子】

海	鉄道	道路
水を使う	製品を運ぶ	製品を運ぶ
材料を運ぶ	すぐ直せる	通勤に便利

【複数の情報を結びつける】